永年勤続者表彰

本学で永きにわたり職務に精励し、本学の発展に貢献した職員を表彰する永年勤続者表彰により205名の職員が表彰された。
例年は式典を開催している同式も新型コロナウイルス感染予防のため、今回は記念品等のみを贈る形が取られた。
2020年度の表彰者は勤続35年28名、勤続25年52名、勤続15年125名。

35年表彰者（28名）　※敬称略

沼澤　聡　薬学部　基礎医療薬学講座毒物学部門
巌本　三壽　薬学部　基礎医療薬学講座生理・病態学部門
稲垣　昌博　富士吉田教育部
大崎千恵子　旗の台校舎　統括看護部
内田　裕司　旗の台校舎　財務部病院経理課
小田澤幸雄　旗の台校舎　施設部施設課
浅井　将行　旗の台校舎　図書館
日高　穣司　富士吉田校舎　学事部富士吉田校舎事務課
塩田　一哉　富士吉田校舎　学事部富士吉田校舎事務課
船田　智也　昭和大学病院　放射線技術部
家泉　桂一　昭和大学病院　病理検査室
杉崎真知子　昭和大学病院　輸血・採血室
白井　敦　昭和大学病院附属東病院　薬局
和田　昭子　昭和大学病院附属東病院　５階病棟
秋山　真之　昭和大学藤が丘病院　放射線技術部
浅沼　眞一　昭和大学藤が丘病院　放射線技術部
本間千寿子　昭和大学藤が丘病院　外来
芳賀ひろみ　昭和大学藤が丘病院　小児病棟
佐久間さつき　昭和大学藤が丘リハビリテーション病院　眼科外来
山下　覚　昭和大学横浜市北部病院　クオリティマネジメント課
坂本　大　昭和大学横浜市北部病院　臨床病理検査部
中田　美江　昭和大学横浜市北部病院　栄養科
早川由美子　昭和大学横浜市北部病院　放射線科外来
村山　京子　昭和大学江東豊洲病院　患者サポートセンター
宮下　信　昭和大学江東豊洲病院　放射線技術部
木野　孝弘　昭和大学附属烏山病院　中央監視室
西村　裕次　昭和大学附属烏山病院　栄養科
沢田　祐子　昭和大学附属烏山病院　Ｃ３病棟

25年表彰者（52名）　※敬称略

矢持　淑子　医学部　臨床病理診断学講座
楯　玄秀　医学部　臨床病理診断学講座
岩瀬万里子　医学部　薬理学講座医科薬理学部門
中牧　剛　医学部　内科学講座血液内科学部門
依田　光正　医学部　リハビリテーション医学講座
小川　良雄　医学部　泌尿器科学講座
柏原　由佳　薬学部　病院薬剤学講座
小野　竜司　旗の台校舎　総務部秘書課
西村　美香　旗の台校舎　財務部病院経理課
相原　雅之　旗の台校舎　施設部施設課監視室
宮崎　裕美　旗の台校舎　学事部大学院課
安藤久美子　昭和大学病院　リハビリテーション室
田村美佐紀　昭和大学病院　内視鏡センター
横山　陽子　昭和大学病院　内視鏡センター
山口　友香　昭和大学病院　外来Ｃ３Ｆ
板橋　克江　昭和大学病院　１１階病棟
石引　由美　昭和大学病院附属東病院　神経内科
沢田　絵里　昭和大学病院附属東病院　管理課
長谷川絵里子　昭和大学病院附属東病院　神経内科外来
高橋　良昌　昭和大学藤が丘病院　放射線技術部
池田　照美　昭和大学藤が丘病院　外来
小池あつ子　昭和大学藤が丘病院　外来
夏坂小百合　昭和大学藤が丘病院　放射線科外来
辻本さなえ　昭和大学藤が丘病院　５階東病棟
松林　幸子　昭和大学藤が丘病院　５階南病棟
高野　洋　昭和大学藤が丘病院　７階東病棟
鶏徳　和子　昭和大学藤が丘病院　８階東病棟
東原　理子　昭和大学藤が丘病院　８階西病棟
久保山香織　昭和大学藤が丘病院救命救急センター　３階東病棟
戸田　桂子　昭和大学藤が丘リハビリテーション病院　２階病棟
石橋ひろみ　昭和大学藤が丘リハビリテーション病院　３階病棟
岡田　貴枝　昭和大学藤が丘リハビリテーション病院　５階病棟
石崎　兼司　昭和大学横浜市北部病院　事務部
和田　佳子　昭和大学横浜市北部病院　医事入院課
近藤　周康　昭和大学横浜市北部病院　医療福祉相談室
岩野　倫明　昭和大学横浜市北部病院　薬剤部
森　美砂子　昭和大学横浜市北部病院　臨床病理検査部
佐々木舞子　昭和大学横浜市北部病院　看護部
樋口　恵子　昭和大学横浜市北部病院　ＧＣＵ
栗山　一葉　昭和大学横浜市北部病院　４階Ｂ病棟
藤澤　宏信　昭和大学江東豊洲病院　放射線技術部
戸田貴美子　昭和大学江東豊洲病院　外来
円谷　英子　昭和大学江東豊洲病院　歯科室
高野　清美　昭和大学江東豊洲病院　８階Ａ病棟
小俣　将彦　昭和大学豊洲クリニック予防医学センター　事務課
増田　滋　昭和大学附属烏山病院　放射線技術部
貝沼　一典　昭和大学附属烏山病院　栄養科
大橋　広美　昭和大学附属烏山病院　Ａ４病棟
佐藤　大　昭和大学附属烏山病院　Ｂ３病棟
高橋　由佳　昭和大学歯科病院　図書室
檜野　雅実　昭和大学歯科病院　事務課
小田　奈央　昭和大学歯科病院　歯科衛生室

食道がんセンターが開設

食道がんセンター
センター長　村上　雅彦

本学の新たな臨床系組織として昭和大学食道がんセンターが昨年12月1日に開設され、昭和大学病院と江東豊洲病院に配置した。日本の食道がん手術は質の高さから国際的にも評価が高く、本学では1996年から今日まで症例を蓄積し国内でもトップクラスの実績がある。

同センターは、食道がんの医学教育・研究および診療を充実させることで増加し続ける食道がんの患者の症例数を増やしていくとともに、国際的にも通用する専門的部門になることを目的に開設され、国外留学生の誘致・指導を行えるhigh volume centerとしての確立を目指す。

同センターの開設にあたりセンター長には、村上雅彦教授（医学部外科学講座消化器一般外科学部門）が着任した。村上教授は、1996年に国内で先駆けて、胸腔鏡・腹腔鏡併用食道がん根治術を成功させ、その術後管理まで含めて「昭和大方式」と呼ばれる独自のスタイルを確立するなど、同手術の第一人者と言われている。今後、同センターは年間200件の食道がん手術を目標に運用していく。

2020年12月1日付で、『食道がんセンター』が開設されました。

1996年に昭和大学病院で行われた胸腔鏡・腹腔鏡併用食道がん根治術は、当初年間5例という症例数から始まり、今では年間100例以上を経験するようになりました。

2018年に『食道外科』が診療科として独立し、より一層専門性の高い医療の提供を可能としました。これに伴い、食道がん治療という特殊性から他診療科や他職種によるサポート・連携が必須となり、食道がんチームボード・食道がんボードが立ち上がり、質の高い・合併症の少ない医療＝患者にとって低侵襲・安全な医療の実践が実現しました。この数年は年間150例近い手術が実施され、診療科の枠を越えた専門性の高いチーム医療の場が必須となり、センターの新設が実現しました。

食道がん手術における当センターの特徴は、ほぼ100％の胸腔鏡手術（ロボット手術含む）であり、1，300例以上の実績を誇っています。最も発生率が高く致命的とされる術後合併症である反回神経麻痺・縫合不全率が3％以下という低率化も実現しました。

本センターの目的は、食道がん手術における世界のリーダー的位置を目指すとともに、患者・医師にも広く開かれたセンターとして発展することであります。すでに、国内外問わず多くの食道外科医の見学・留学、海外での指導的講演・手術を行っていますが、更なる飛躍の一歩として新規一転精進していく所存であります。

手術を行う限り、最後まで食道外科医が主治医であり、他職種への橋渡しを行う責任があります。より体の負担が少なく、術後合併症が皆無の手術を提供することを目標として、至誠一貫の精神のもと、常に寄り添える医師の育成に努めます。

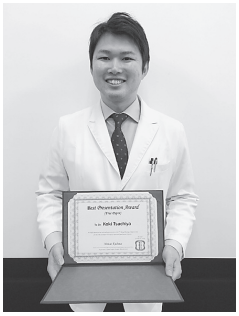
土谷弘樹助教がBest Presentation Awardを受賞

―日本脊椎・脊髄神経手術手技学会―

土谷弘樹助教（医学部整形外科学講座）が第27回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会で（10月2日から4日、WEB開催）でBest Presentation Awardを受賞した。

同学会は、脊椎・脊髄領域において整形外科と脳神経外科が垣根を越えて情報を公開し、研鑽することを目的に、1993年に設立された。

土谷助教は研究テーマ「びまん性特発性骨増殖症（DISH）の非癒合椎における骨折は椎体内骨密度の不均一性と関連がある」が高く評価され同賞に選定された。



土谷弘樹助教のコメント

このたび、第27回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会において、Best Presentation Awardを頂き、大変光栄に感じております。

本研究では、びまん性特発性骨増殖症（DISH）の患者における椎体内骨密度を定量的CT測定法で三次元的に検討し、DISHの非癒合椎体における骨折は椎体内前方骨密度の低下と関連があることを報告しております。

この賞を糧とし、これからも整形外科医として臨床・研究ともに努力していきたいと思います。

最後になりましたが、今回このような素晴らしい賞を賜りまして、ご指導いただきました全ての先生方に心より御礼申し上げます。

医学教育シンポジウムを開催

昨年11月5日、本学主催のもと、カリフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF）と「医学教育シンポジウム」をWEB開催した。

同シンポジウムでは、先進的医学教育カリキュラムで有名なUCSFにおける早期臨床実習のノウハウを学び、日本での普及について検討した。UCSFから7名のゲストスピーカーを招聘し、全国の医学教育者、臨床研修病院の責任者等、約200名が参加した。

久光正学長の挨拶で始まり、泉美貴教授（医学部医学教育学講座）から本学の新カリキュラムの取り組みと問題点が紹介された後、UCSFのゲストスピーカーによる講演ではUCSFにおける医学教育の最新の取り組みや臨床実習等の事例が紹介された。

UCSFゲストスピーカーと本学スタッフ

医学堂書店
品川区
旗の台
電話(03)
3783-9774